

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第15号
平成31年1月18日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

明けましておめでとうございます～はきものをそろえる～

いよいよ3学期が始まりました。そして、新しい年、そして平成最後の年の始まりです。気が引き締まりますね。保護者の皆様、本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

子ども達が学校に元気で戻ってきてくれてうれしく思っています。インフルエンザが流行っているようです。乾燥した日が続いておりますので、栄養・休養をしっかりとったり、外から帰ってからの手洗い、うがい等をしっかりと行う等の対策を十分とって健康にお過ごし下さい。



さて、1月8日(火)の始業式では「はきもののかかとをそろえる」という話をしました。2学期末「ろうかを走る子ども達がいって、危ないです。」という話が先生方からありました。これは1学期からの課題でした。2学期にはぶつかって怪我をしてしまったこともありました。廊下の歩き方は道路での歩き方にもつながります。そこで、落ち着いた生活を送るために、まず「はきもののかかとをそろえる」ことから始めることとしました

これは、「八代スピリッツ」(左図)の「あいさつ・ききかた・そろえかた」という約束の中にもがあります。靴箱に靴を入れたら、すぐ手を離すのではなく、靴を手前に引いての靴箱のへりに揃えることで、靴はもちろん揃いますが、それだけではなく、揃えた人の心も整えられると考えられているのです。

心を整えると言えば、プロサッカー選手で、元日本代表のキャプテンで、今もヨーロッパで活躍されている長谷部誠選手を思い出します。「心を整える」という本のなかで、勝利をたぐり寄せるためには心を整えるための56の習慣がある。と書いています。



履き物をそろえることは、他にもいいことがあります。左図は、長野県円福寺の、藤本住職の言葉です。履き物をそろえると、自分の心だけでなく、隣の人も、そして世界中の人の心も整えられるのです。自分の靴を、次、履きやすいように玄関に向けてそろえておく。他の人も履きやすいように、隣の人が靴を乱して脱ぎっぱなしにしていたら、黙って、揃えてあげる。ちょっと、隣の人の靴やスリッパも揃える。それだけで心は乱れないのです。これは「ありがとう」の心を持つことにもつながりますし、毎日やることで、継続する力にもつながります。

本年もまた、子ども達の今後の益々の成長を見守って参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

「ゆうべにマイスター」になったよ!

12月25日(火)に、全学年で熊本県産の野菜等について学びました。JA熊本経済連の方がたくさん資料を使って楽しい授業をして下さいました。その中でも熊本県産のいちご「ゆうべに」については、名前の由来やいちごのおいしい食べ方など詳しく教えて下さいました。4年生の山下晴生君のお父さんからもお話を頂きました。全員「ゆうべにマイスター」の証明書とシールを頂きました。さらに、給食で、1人3個のいちご「ゆうべに」を頂きました。「ゆうべに」はサイズが大きいので、「子ども達は食べてしまえるかな?」と心配していましたが、みんな「おいしい!」と給食も完食「ゆうべに」も完食。ぺろりとたいらげてしまいました。もちろん私も頂きました。おいしかったです。JAの皆さんありがとうございました。みなさんも熊本の「ゆうべに」食べてみて下さい。



春のおとづれ

学校の中庭の梅の木に、白いかわいい花がちらほらと咲き始めました。もう春がそこまで近づいています。まだ空気は冷たいですが、心が「ホット」しますね。



◎「資質・能力」の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現
*「資質・能力」とは・①「知識・技能」の習得
②「思考力・判断力・表現力」の育成
③「学びに向かう力、人間性等」の涵養